

鎌倉市における戸別収集のあり方について方針（素案）の説明会概要

令和6年2月23日（金）10時30分から11時30分 腰越学習センター第4集会室

参加者10名

- 1 ごみ減量対策課担当課長挨拶
- 2 方針（素案）の説明
- 3 質疑応答

Q 動物被害対策用のバケツについて、市から例示してほしい。また、バケツ等が壊れたら無料で回収してほしい。

A 戸別収集の導入が決定したら例示する。壊れたバケツ等の無料回収については検討する。全品目戸別収集になった場合、クリーンステーション（以下、CSという。）で使用しているネットやネットボックスは無料で回収する想定である。

Q 有料袋は継続するのか。

A 有料袋はごみの減量を目的としているので継続する。

Q 収集車両に電気自動車を導入する予定はあるか。

A 市のパッカー車で導入できるよう検討しているが、あまり市場に流通していない。

Q ごみ箱を門扉に設置とあるが、収集車が入れない道は収集に来てもらえるのか。

A 収集員が道路に面した敷地まで取りに行く。特別な事情がある場合は個々に対応する。

Q 分別せずに出されているごみがあった場合、収集しないのか。ごみ屋敷になるのでは。

A 収集しないが、そのまま放置するのではなく排出者が特定できるので個々に説明をする。

Q 先行地区の期間はどれくらいか。先行期間中に地区の変更はあるか。

A 先行地区は1年間実施し、その後全市に展開する。事業者が対応できなくなるので地区の変更はない。

Q モデル事業を実施した地区は戸別収集の良さを分かっているので、先行地区から外していただきたい。戸別収集の経験がない地区をやってほしい。

A 先行地区は優先項目を設定して判断する。モデル地区は既にバケツ等の用意があることから円滑に導入できると考えている。

## 意見

- ・前回モデル事業で戸別収集を体験した。始めは否定的な方が多かったが、実際に体験すると8割くらいの方が肯定的になった。
- ・家の前にごみを出しカラスに荒らされたことで、ごみに対する意識が変わった。戸別収集は自己責任のため、分別を意識するようになった。
- ・CSへの不法投棄などが無くなり、地域が整備された。整備されることで防犯効果にもなると感じた。